

# 新・こどもと健康

No.75

2023.4.1

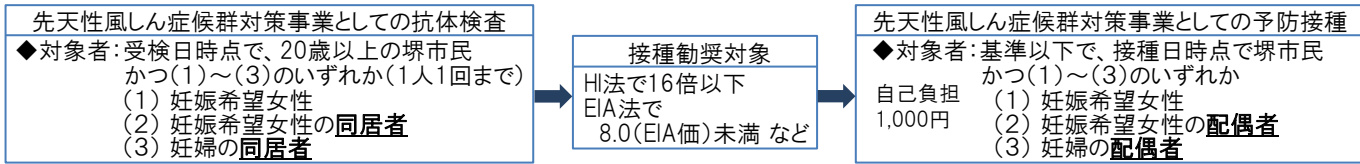
## 堺市の9価子宮頸がんワクチンの定期接種について

通常は【3回接種】で、1回目と2回目の間隔は2か月、1回目と3回目の間隔は6か月(2回目と3回目の間隔は3か月以上)で、3回目までを1年以内に接種することが望ましいです。小学校6年生～15歳未満で1回目の接種を受けた方は【2回接種】による方法が可能で、この場合、1回目から2回目の間隔は通常6か月です(少なくとも5か月以上)。こちらも2回目までを1年以内に接種することが望ましいです。2価か4価ワクチンを途中まで受けている人は、医師とよく相談した上で、実施して差し支えないとなりました(交互接種)。3回に満たない回数を9価ワクチンで接種できます。

### 大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

### 堺市の『風しん抗体検査』の取扱いを当科で開始

先天性風しん症候群対策として令和4年度までは各保健センターで月1回しかなかった、無料の抗体検査を、令和5年度からは堺市契約の各医療機関で受けられるようになり、当科でも実施できます。できれば予約の上、月～土の発熱外来ではない時間帯にお越しください。結果、基準値以下で、かつ条件に当てはまる方は、任意接種として自己負担1,000円で予防接種に進むことができます。



ただし、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は『風しん第5期定期接種事業』の方を優先して使ってください。

風しん第5期定期接種では十分な抗体があるが、堺市の先天性風しん症候群対策では不十分と判定される場合  
具体的にはHI法で16倍、EIA法で6以上8未満 他のおとき

(2)(3)は同居者ではなく、配偶者(婚姻関係は問われません)であることに注意

## 新型コロナワクチンの今後のスケジュールと小児用2価ワクチン承認

対象者	時期	令和4年度	令和5年度	
		令和4年秋開始接種 【R4.9.20～R5.5.7】	令和5年春開始接種 【R5.5.8～8.31予定】	令和5年秋開始接種 【R5.9.1～12.31予定】
追加接種	12歳以上	○ (12歳以上用2価)	○ (12歳以上用2価)	○ (使用するワクチンは検討中)
	5～11歳		○ (小児用2価) 3か月以上でもう1回可	
初回接種	12歳以上	追加接種 【～R5.3.31】 (従来型)	接種対象(12歳以上用、従来型、1・2回目、当科で不可)	
	5～11歳		接種対象(小児用、従来型、1・2回目、当科で可)	
	6か月～4歳		接種対象(乳幼児用、従来型、1・2・3回目、当科で可)	

新型コロナワクチンの特例臨時接種が2024年3月31日まで延長されました。2023年2月28日にオミクロン株(BA.4-5)に対応した5～11歳用の新型コロナウィルス2価ワクチンが承認され、接種を開始しています。今後のスケジュールは上の表を参考にしてください。

**インフルエンザは警報解除も、Aに混じってインフルエンザB少数あり**  
インフルエンザの定点当たりの報告数は、大阪府・堺市とも1月30日からの週の29.91、36.75をピークに、3月20日からの週は3.21と3.29に下がってきています。インフルエンザAだけではなく、3月13日からの週に当科ではインフルエンザBの方が3名おられました。

# 2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

日本脳炎ワクチンは通常通り、予約できます

2月1日から、  
発熱外来を拡大しています

感冒症状の**全くない方専用**

午前診 9:00~10:00  
夕方診 17:00~17:30

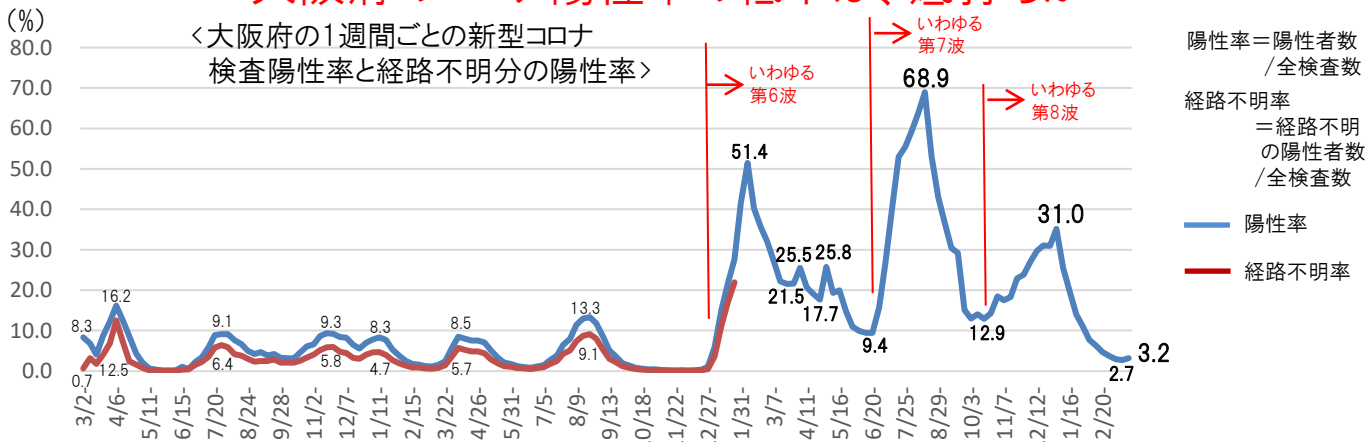
全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

## 当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率					
R4.2/2~	10	3	0	30%	4/25~	21	7	3	42%	7/19~	36	13	0	36%	10/11~	16	3	0	19%	R5.1/2~	14	2	0	14%
2/7~	21	10	4	56%	5/2~	9	1	0	11%	7/25~	47	13	6	36%	10/17~	18	4	0	22%	1/9~	12	3	0	25%
2/14~	11	4	0	36%	5/9~	18	2	2	20%	8/1~	23	12	4	65%	10/24~	11	1	0	9%	1/16~	33	6	0	18%
2/21~	5	3	0	60%	5/16~	10	1	2	25%	8/8~	15	6	3	50%	10/31~	11	0	0	0%	1/23~	22	3	0	14%
2/28~	21	13	1	64%	5/23~	14	3	0	21%	8/16~	20	11	6	59%	11/7~	14	2	0	14%	1/30~	22	2	0	9%
3/7~	14	4	3	41%	5/30~	8	0	0	0%	8/22~	27	8	2	34%	11/14~	10	3	0	30%	2/6~	17	0	0	0%
3/14~	14	6	2	50%	6/6~	9	1	0	11%	8/29~	10	4	2	50%	11/21~	19	1	0	5%	2/13~	3	0	0	0%
3/21~	13	6	1	50%	6/13~	3	0	0	0%	9/5~	18	3	2	25%	11/27~	18	5	0	28%	2/20~	6	0	0	0%
3/28~	10	0	0	0%	6/20~	10	1	0	10%	9/12~	26	3	1	15%	12/5~	14	3	0	21%	2/27~	9	0	0	0%
4/4~	9	1	0	11%	6/27~	8	1	0	13%	9/20~	7	2	1	38%	12/12~	19	3	0	16%	3/6~	9	1	0	11%
4/11~	18	2	0	11%	7/4~	11	4	1	42%	9/26~	23	6	1	29%	12/19~	17	6	0	35%	3/13~	11	0	0	0%
4/18~	14	3	0	21%	7/11~	31	14	0	45%	10/3~	17	3	0	18%	12/26~	7	1	0	14%	3/20~	9	0	0	0%
																計、平均	922	223	47	28%				

当科での週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。当科では3月6日から12日の週にコロナ陽性の方が約1か月ぶりにおられました。

## 大阪府のコロナ陽性率の低下は、底打ちか



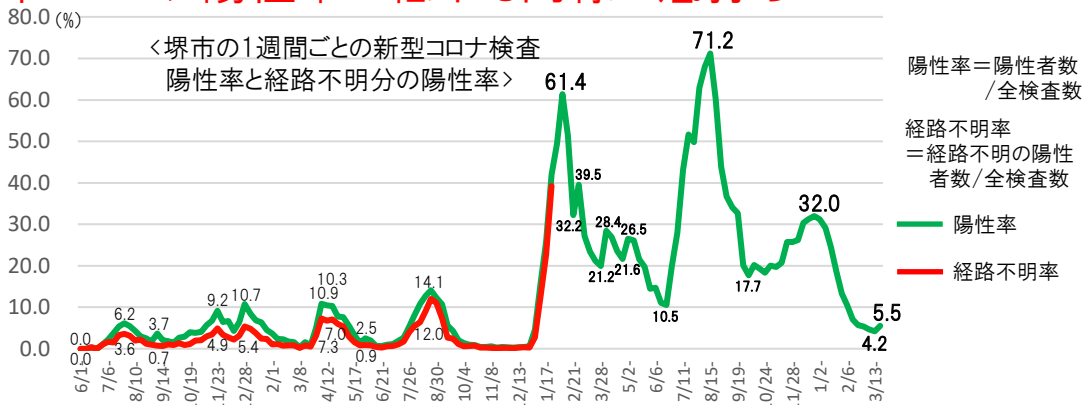
陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありえます)での推移です。2022年12月19日からの週の31.0%が第8波のピークで、2023年3月13日からの週が2.7%まで低下しました。

出典:大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2023/3/26』

## 堺市のコロナ陽性率の低下も同様に底打ちか

堺市の第8波での陽性率は2022年12月26日から1月1日の週に32.0%まで悪化後、2023年3月13日から19日の週には4.2%まで低下しました。

出典:堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2023/3/26



4月・担当医の変更

1日(土) 片桐→赤澤  
8日(土) 片桐→赤澤  
15日(土) 片桐→赤澤

ゴールデンウィークはカレンダー通りです